



山本 良一

## 2050年までに温室効果ガス半減の実行

# エコエフィシエンシーとエコデザイン技術特別研究会

# RC-17

### 1. 代表幹事

山本良一 (東京大学 生産技術研究所 教授)  
**幹事**  
 小田克郎 (東京大学 生産技術研究所 准教授)  
 鈴木淳史 (横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授)  
 中原秀樹 (武蔵工業大学 環境情報学部 教授)  
 益田文和 (東京造形大学 教授)  
 木俣信行 (鳥取環境大学 教授)  
 足立直樹 (株式会社レスポンスアビリティ 取締役)  
 森田一樹 (東京大学 生産技術研究所 教授)  
 安達 毅 (東京大学 生産技術研究所 准教授)

### 連絡先

山本良一  
 Tel : 03-5452-6303  
 Fax : 03-5452-6305  
 e-mail : yamamoto@iis.u-tokyo.ac.jp

## 2. 主旨

本研究会は「環境に配慮した新しいモノづくりと持続可能経営」を環境効率 (Eco-efficiency) とエコデザイン (Eco-design) の見地から考察する研究会として1999年に発足し、略称をSPEEED (Special Project on Eco-Efficiency and Eco-Design) としております。2008年度は63社のご参加をいただき8回の研究会を開催致しました。

「地球温暖化へエコイノベーションで立ち向かうーグリーン・ティッピングポイントを越えよう」をテーマに箱根プリンスホテルで研究会を開催し、地球システムと社会システムのティッピングポイント、日本のエコイノベーション戦略、環境経営、私の提唱するサステナブルデザインなどについて活発な討議を行いました。2008年に世界の環境戦略は急転回しました。「環境対策」から「環境革命」へ取り組みの度合いが強められました。これは夏の北極海氷が消滅の方向にあること、北海道洞爺湖サミットで「2050年までに世界の温室効果ガスを半減する」という長期目標が実質的に合意されたことが反映されていると考えます。

2009年度は主として以下の研究を行うことを目的とします。

- (1) 環境革命時代のエコプロダクツ開発戦略、環境経営戦略について討議する。
- (2) サステナブル・ビジネスモデルについて討議する。

## 3. その他

期 間 : 平成21年4月～平成22年3月

年会費 : 20万円

※特別研究会は賛助員を対象にしていますので、未入会の場合は同時入会が必要です。(賛助会費一口10万円)

定 員 : 企業数…制限なし 1社2～3名

運営方法 : (1) 年5回程度の定例研究会を中心にして、上記の2課題について討論し、

成果を様々な形で取りまとめ公表する。

(2) 定例会の他に平成21年7月3、4、5日小田急山のホテルで特別研究会を開催する。